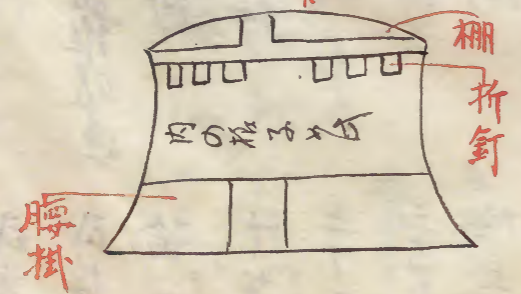


塗小色白油惣



九斤目
九千斤程

午六月廿九日

阿蘭陀名
トイクルスコロツク

此品よりて水中へ入り之に廿四寸ハ
海軍にて居り由に神海の由に由れん

右橋助左馬
常徳弥十郎

一 去年中上り咬咄吧より本島に往來し船隻元々通過路
相違りん

一 以節於甚灣^灣迎唐船を被見掛申度

一 去己年帰帆信、毎とふよりん船に急るて、ん西以由
ん儀此を利か、ん中付古かび多ん占交代被り振申
付越度

右之外相替り、風流に由れん

古かひ多ん

大ん志のりす

右之越兩か、ん中上り通う和解仕差上中以上

利かひ多ん
とん船に急るて、ん
といはん